

2014年12月5日/アカデミック・リンク・センター 1棟1階コンテンツスタジオ

2014年度アカデミック・リンク・セミナー(第4回)

「公正な論文発表をめざして」参加者アンケート集計結果

当日参加者数： 19名

アンケート提出数： 14件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・ミスコンダクトという捉え方
- ・「不正」という言葉を安易に使わない、という点は、初めて気付いた。
- ・日本語の論文はクロスチェック（不正の）、ができない。
- ・「不正」というより「ミスコンダクト」
- ・山崎先生のお話がとてもわかりやすく、勉強になりました。図書館員として、研究者、学生への情報提供や教育をしていかなければいけないと思いました。大変良い機会となりました。ありがとうございました。
- ・千葉大でも(iThenticate)を使うことになったこと。
- ・タイムリーな企画で大変よく理解できました。
- ・剽窃は、罪の意識なく行ってしまう方が多いのだと分かった。やはり大学として、アカデミック・リテラシーやライティングを行うべきだと思います。
- ・ミスコンダクトへの対策として、公衆衛生学的アプローチというものがあることを知ったが、環境改善に衛生学のアプローチを使用可 というのは初耳で関心を持った。
- ・盗用の実態について動向がわかりました。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・具体的な対策を今後どうすべきか、自分たちで検討が必要。
- ・コピペした所を参考文献に、“〇〇は「-----」1)” というようにしても ミスコンダクトなのでしょうか。
- ・英文の論文を盗用し、日本語にした場合は、チェックが難しいのでしょうか。
- ・(iThenticate)を使用できるのは、特殊な人たちだけであると思うが、その点が疑問。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・外部資金の獲得
- ・公正な論文作成、発表のための教育について。
- ・学生、院生などによる学習支援、ラーニングコモンズの人的支援 について。
- ・いろいろな意味で「クラウド化」について企画して頂きたい。

(次頁に続く)

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・大変勉強になった
- ・私自身発表スライド、アンケートを盗用されたことがあり、本人には「コピペ」の罪の意識がなかった、ということがありました。著作権、クレジットについて関心をさらに深め、背景の理解も深めることができました。
- ・小中高校生の調べもの、発表の教育も大きいと思います。自分で考え、自分の言葉で表現することの大切さを、大学入学前に教育する必要があると思います。
- ・貴重なお話ありがとうございました。
- ・iThenticate は、日本語の方がまだ不十分だという事ですが、試してみようと思います。
- ・色々な角度からテーマについてお話があり、大変勉強になりました。

5. 次の（１）、（２）について、該当するものに○をつけてください。

- (1) a. 学外から参加 5名 b. 学内からの参加 9名
- (2) a. 学生 5名 b. 教員 4名 c. 大学職員(図書館職員を除く) 1名 d. 図書館職員 3名
e. 出版関係 1名 f. その他 0名

6. セミナーを何で知りましたか？

- a. Web(アカデミック・リンク・センター) 2名 b. Web(図書館) 2名 c. Web(千葉大学) 2名
d. 図書館内電子掲示 0名 e. ポスター 2名 f. センターからのメール 6名 g. Facebook・Twitter 0名
h. その他 2名(上司の紹介、教授会で)

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：()

ご所属：()

電子メールアドレス： 申込時に申請したもの それ以外()

ご協力ありがとうございました。

※6名が新規に継続的な情報提供を希望